

## 宮崎県 J F 共済推進本部 本部長 矢部 廣一



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃より J F 共済事業へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。新春を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症等および相次ぐ台風襲来等の自然災害により被害に遭われた漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い終息をお祈りいたします。

さて、去年は新型コロナウイルス感染症拡大という予期せぬ災いが発生し需要の冷え込みによる漁価の低迷もあって、J F 共済の事業基盤であります漁業・漁村を取り巻く環境は以前にも増し厳しい状況にありますことは皆様ご承知のとおりで私が申し上げるまでもございません。

このような事業環境ではございますが、J F 共済は今年1月、創立70周年を迎えます。これはひとえに J F の皆様のご協力のおかげで、ここまでの組織にして頂きましたこと感謝に絶えません。これからも J F ・ J F 共水連が一体となって組合員・地域住民の方々に万全な保障を提供できるように邁進してまいります。

2020年度からは新3か年計画「浜の安心を未来へ～ひろげよう共済の輪～」がスタートし前3か年計画から引き継いだ課題である「保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための取組み」を着実に実践し、J F 共済事業の健全性・信頼性の強化に取り組んでいるところでございます。

そこで、推進本部といたしましては、新3か年計画の「生命・建物の保障を組合員・世帯構成員・地域住民に幅広く提供し、J F 共済の輪の拡大を図って行く。」ことに取組み、J F 組合員等に1人ひとりに満足・納得のいく保障を提供するため、「浜のあんしんサポート運動」として漁協役職員はもとより、女性部・青壮年部等のご協力を賜り、各共済種目の目標達成をめざして積極的な普及推進活動を展開しているところでございます。

このような中、基幹種目の一つであります「くらし」につきましては、昨年度に引続き積極的な推進活動により、順調に年度目標達成に近づいております。「チョコー」につきましては、「新医療共済『匠』」や女性特約の「りぼん」等の周知徹底を図るべく推進活動を展開しており、第4四半期での成果を期待するところです。

私たち J F 共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、どうか本年も、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と操業の安全及び大漁をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。